

最適整備構想（施設監視５年計画）作成要領について

最適整備構想（施設監視５年計画）（以下「簡易版」という。）様式は、「インフラ長寿命化基本計画」において基本となる記載事項を漏れなく盛り込み、地方公共団体の実務者にとって「作りやすく」「使いやすく」「分かりやすく」を目指し、積極的に既存様式を活用した上で記入方法も同じくする等、できる限り実務担当者の負担軽減に配慮した。

なお、簡易版様式の作成に当たり、使用するソフトウェアは任意とするが、参考として広く扱われている表計算ソフトで作成したファイルを提供している。

入力項目がある程度共通の選択肢に限られる場合には、プルダウンメニューによる選択ができるようにし、選択肢にない場合でも直接入力ができるようにしている。

最適整備構想（施設監視 5 年計画）様式 作成要領

最適整備構想（施設監視 5 年計画）様式										項目	記載方法	記載例	その他（補足説明）
〇〇町 最適整備構想（施設監視5年計画） 施設管理部署 〇〇町 下水道課 策定(従来版) 平成23年12月 策定(簡易版) 平成30年 4月 改訂 平成●●年 〇月 診断時期 平成〇〇年度～〇〇年度										構想の名称	複数の構想がある場合には、「〇〇町」を適宜変更して名付ける	〇〇町最適整備構想施設監視 5 年計画 〇〇市、〇〇町、〇〇村	平成29年 3 月国土交通 省水管理・国土保全局下 水道部下水道ストックマ ネジメント支援制度の様 式及び記載例を参考にす ることができる内容とし ている
										施設管理部署	市町村名及び担当課が明 記されていれば問題ない	〇〇町下水道課 〇〇市〇〇局〇〇部〇〇課 〇〇市〇〇部〇〇課	
1. 施設概要										策定(従来版)	これまでに最適整備構想 (従来版)を策定している 場合は、その年月を記載 する。また、策定してい ない場合は、年月を記載 しない	平成23年12月 平成－年－月	
										策定(簡易版)	最適整備構想(簡易版)を 初めて策定した年月を記 載する	平成30年 4 月	
										改訂	現行の最適整備構想を改 訂した年月を記載する	平成●●年〇月	
										診断時期	簡易版策定のための施設 機能診断実施年度を記載 する 調査が複数年度にまたが る場合には、〇年度～〇 年度と記載する	平成28年度 平成27年度～平成28年度	

最適整備構想（施設監視 5 年計画）様式 作成要領

最適整備構想（施設監視 5 年計画）様式	項目	記載方法	記載例	その他（補足説明）																																																																																														
〇〇町 最適整備構想（施設監視5年計画） 施設管理部署 〇〇町 下水道課 策定(従来版) 平成23年12月 策定(簡易版) 平成30年 4月 改訂 平成●●年 〇月 診断時期 平成〇〇年度～〇〇年度 1. 施設概要 <table><tr><th colspan="8">1. 汚水処理の概要（農業集落排水施設以外も含む）</th></tr><tr><th rowspan="2">都道府県名 市町村名</th><th colspan="3">現況（H〇年度）</th><th colspan="3">将来（H〇年度）</th><th rowspan="2">備 考</th></tr><tr><th>行政人口</th><th>汚水処理人口</th><th>普及率</th><th>行政人口</th><th>汚水処理人口</th><th>普及率</th></tr><tr><td>〇〇県〇〇町</td><td>〇〇 人</td><td>〇〇 人</td><td>〇 %</td><td>〇〇 人</td><td>〇〇 人</td><td>〇 %</td><td>下水道〇%、農集排〇%、浄化槽等〇%</td></tr></table><table><tr><th colspan="8">2. 農業集落排水施設の概要</th></tr><tr><th>地区名 (処理区名)</th><th>処理方式</th><th>供用開始</th><th>計画人口</th><th>現在供用人口 (H〇年度)</th><th>将来計画人口 (H〇年度)</th><th>機能診断</th><th>備 考 (再編等の予定)</th></tr><tr><td>A</td><td>J-〇〇型</td><td>H7年4月</td><td>〇〇 人</td><td>〇〇 人</td><td>〇〇 人</td><td>H28年度</td><td>予定なし</td></tr><tr><td>B</td><td>J-〇〇型</td><td>H23年4月</td><td>〇〇 人</td><td>〇〇 人</td><td>〇〇 人</td><td>未定</td><td>予定なし</td></tr><tr><td>C</td><td>J-〇〇型</td><td>H10年4月</td><td>〇〇 人</td><td>〇〇 人</td><td>〇〇 人</td><td>－</td><td>A処理区へ統合予定（H33）</td></tr><tr><td>D</td><td>J-〇〇型</td><td>H9年4月</td><td>〇〇 人</td><td>〇〇 人</td><td>〇〇 人</td><td>－</td><td>a公共下水道へ接続予定（H35）</td></tr><tr><td>E</td><td>〇〇式</td><td>建設中</td><td>〇〇 人</td><td>〇〇 人</td><td>〇〇 人</td><td>未定</td><td>－</td></tr><tr><td colspan="3">合 計</td><td>〇〇〇 人</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	1. 汚水処理の概要（農業集落排水施設以外も含む）								都道府県名 市町村名	現況（H〇年度）			将来（H〇年度）			備 考	行政人口	汚水処理人口	普及率	行政人口	汚水処理人口	普及率	〇〇県〇〇町	〇〇 人	〇〇 人	〇 %	〇〇 人	〇〇 人	〇 %	下水道〇%、農集排〇%、浄化槽等〇%	2. 農業集落排水施設の概要								地区名 (処理区名)	処理方式	供用開始	計画人口	現在供用人口 (H〇年度)	将来計画人口 (H〇年度)	機能診断	備 考 (再編等の予定)	A	J-〇〇型	H7年4月	〇〇 人	〇〇 人	〇〇 人	H28年度	予定なし	B	J-〇〇型	H23年4月	〇〇 人	〇〇 人	〇〇 人	未定	予定なし	C	J-〇〇型	H10年4月	〇〇 人	〇〇 人	〇〇 人	－	A処理区へ統合予定（H33）	D	J-〇〇型	H9年4月	〇〇 人	〇〇 人	〇〇 人	－	a公共下水道へ接続予定（H35）	E	〇〇式	建設中	〇〇 人	〇〇 人	〇〇 人	未定	－	合 計			〇〇〇 人					1. 施設概要			平成28年 8 月24日付け 地方農政局等地域整備課 長等あて農林水産省農村 振興局整備部地域整備課 課長補佐（農村資源循環 班担当）事務連絡 農業 集落排水施設の機能保全 等計画概要の作成等につ いて（依頼）の農業集落 排水施設の機能保全計画 概要の記載例を参考にす ることができる。なお、 最新の調査値を記載する ことが望ましい シート”参考 1”記載要領 参照
1. 汚水処理の概要（農業集落排水施設以外も含む）																																																																																																		
都道府県名 市町村名	現況（H〇年度）			将来（H〇年度）			備 考																																																																																											
	行政人口	汚水処理人口	普及率	行政人口	汚水処理人口	普及率																																																																																												
〇〇県〇〇町	〇〇 人	〇〇 人	〇 %	〇〇 人	〇〇 人	〇 %	下水道〇%、農集排〇%、浄化槽等〇%																																																																																											
2. 農業集落排水施設の概要																																																																																																		
地区名 (処理区名)	処理方式	供用開始	計画人口	現在供用人口 (H〇年度)	将来計画人口 (H〇年度)	機能診断	備 考 (再編等の予定)																																																																																											
A	J-〇〇型	H7年4月	〇〇 人	〇〇 人	〇〇 人	H28年度	予定なし																																																																																											
B	J-〇〇型	H23年4月	〇〇 人	〇〇 人	〇〇 人	未定	予定なし																																																																																											
C	J-〇〇型	H10年4月	〇〇 人	〇〇 人	〇〇 人	－	A処理区へ統合予定（H33）																																																																																											
D	J-〇〇型	H9年4月	〇〇 人	〇〇 人	〇〇 人	－	a公共下水道へ接続予定（H35）																																																																																											
E	〇〇式	建設中	〇〇 人	〇〇 人	〇〇 人	未定	－																																																																																											
合 計			〇〇〇 人																																																																																															
	1. 汚水処理の概要																																																																																																	
都道府県名、市町村名	都道府県名市町村名を記載する	都道府県名市町村名を記載する	〇〇県〇〇市																																																																																															
現況（H〇年度）	現況の基準年を記載する	現況の基準年を記載する	（H〇年度）																																																																																															
将来（H〇年度）	将来の基準年を記載する	将来の基準年を記載する	（H〇年度）																																																																																															
行政人口（人）	行政人口を記載する	行政人口を記載する	〇人																																																																																															
汚水処理人口（人）	行政人口を記載する	行政人口を記載する	〇人																																																																																															
普及率（％）	普及率を記載する	普及率を記載する	〇％																																																																																															
備考（汚水処理施設毎の普及率を記載する）	それぞれ記載し、浄化槽等〇％としてまとめる 丁寧に全てを書き分けることを拒むものではない	それぞれ記載し、浄化槽等〇％としてまとめる 丁寧に全てを書き分けることを拒むものではない	下水道〇％、農集排〇％、浄化槽等〇％																																																																																															

最適整備構想（施設監視 5 年計画）様式 作成要領

最適整備構想（施設監視5年計画）様式				項目	記載方法	記載例	その他（補足説明）
〇〇町 最適整備構想（施設監視5年計画） 施設管理部署 〇〇町 下水道課 策定(従来版) 平成23年12月 策定(簡易版) 平成30年 4月 改訂 平成●●年 〇月 診断時期 平成〇〇年度～〇〇年度				2. 集落排水施設の概要			
				地区名（処理区名）	地区名を記載する 地区名・処理区名は、当該市町村内で供用中及び新規整備着工中の全ての農業集落排水施設について記載すること	〇〇	
				処理方式	処理方式を記載する	J-III型、J-XIV型 等	シート"表1"に添付した施設の一覧表にある名称を参考にすることができる（プルダウンで選択可、これに拠らない場合は直接入力可）
				供用開始	供用開始を記載する 供用中の地区については新規整備時の供用開始年月を記載し、新規整備着工中の地区については「建設中」と記載すること	H 7 年 4 月	
				計画人口	計画人口を記載する 農業集落排水事業計画の処理人口（定住人口＋流入人口）を記載する（計画変更を行っていれば、変更計画の処理人口を記載）	〇人	左記の計画処理人口は事業計画時における概略の計画人口の場合もあることから、農業集落排水事業基本設計人口、または一般認定適合、認定・認定時の計画処理対象人口とすることも可
				現在供用人口（H〇年度）	現在供用人口を記載する 当該処理区内の定住人口＋ 流入人口（未接続の人口も含む）を記載する	〇人	

1. 施設概要							
1. 汚水処理の概要（農業集落排水施設以外も含む）							
都道府県名 市町村名	現況（H〇年度）			将来（H〇年度）			備 考
	行政人口	汚水処理人口	普及率	行政人口	汚水処理人口	普及率	
〇〇県〇〇町	〇〇 人	〇〇 人	〇 %	〇〇 人	〇〇 人	〇 %	下水道〇%、農業排〇%、浄化槽等〇%
2. 農業集落排水施設の概要							
地区名 (処理区名)	処理方式	供用開始	計画人口	現在供用人口 (H〇年度)	将来計画人口 (H〇年度)	機能診断	備 考 (再編等の予定)
A	J-〇〇型	H7年4月	〇〇 人	〇〇 人	〇〇 人	H28年度	予定なし
B	J-〇〇型	H23年4月	〇〇 人	〇〇 人	〇〇 人	未定	予定なし
C	J-〇〇型	H10年4月	〇〇 人	〇〇 人	〇〇 人	－	A処理区へ統合予定（H33）
D	J-〇〇型	H9年4月	〇〇 人	〇〇 人	〇〇 人	－	a公共下水道へ接続予定（H35）
E	〇〇式	建設中	〇〇 人	〇〇 人	〇〇 人	未定	－
合 計			〇〇〇 人				

最適整備構想（施設監視 5 年計画）様式 作成要領

[illegible]

最適整備構想（施設監視 5 年計画）様式 作成要領

最適整備構想（施設監視 5 年計画）様式								項目	記載方法	記載例	その他（補足説明）
2. 施設調査結果集計表（健全度S-5 ～ S-1）								2. 施設調査結果集計表 （健全度S-5～S-1）			★
地区名	対象施設名	施設仕様	調査結果（健全度）					地区名（処理区名）	地区名を記載する	〇〇	
A	管路施設 自然流下式	VU管	1,505 m	669 m				対象施設名	「管路施設自然流下式」 「污水处理施設鉄筋コン クリート」「污水处理施 設電気設備」「污水处理 施設機械設備」のよう にして対象施設の名称を記 載する	「管路施設自然流下式」 「管路施設圧力式」 「管路施設中継ポンプ機械設備」 「管路施設中継ポンプ電気設備」 「污水处理施設鉄筋コンクリート」 「污水处理施設鉄筋コンクリート表面被 覆」 「污水处理施設電気設備」 「污水处理施設機械設備」	シート”表 2”に添付した 施設の一覧表にある名称 を参考にすることができ る（プルダウンで選択 可、これに拠らない場合 は直接入力可）
		マンホール	53 基	18 基							
		蓋		71 個							
	管路施設 圧力式	マンホール	2 基								
		蓋		2 個							
	管路施設 中継ポンプ機械設備	中継ポンプ 本体	4 基			2 基					
	管路施設 中継ポンプ電気設備	中継ポンプ 制御盤				3 面					
	污水处理施設 鉄筋コンクリート	水槽 （本体）	20 m2	415 m2	879 m2						
	污水处理施設 鉄筋コンクリート表面被覆	水槽 （表面被覆）	1,314 m2								
污水处理施設 機械設備	機械設備類	12 基	36 基	14 基	2 基						
污水处理施設 電気設備	電気設備類		1 式	5 面							
地区名	対象施設名	施設仕様	調査結果（健全度）					施設仕様	「V U 管」「マンホー ル」「蓋」のようにして 対象施設の施設仕様を記 載する	「V U 管」 「マンホール」 「蓋」 「中継ポンプ本体」 「中継ポンプ制御盤」 「水槽（本体）」 「機械設備類」 「電気設備類」	シート”表 3”に添付した 施設の一覧表にある名称 を参考にすることができ る（プルダウンで選択 可、これに拠らない場合 は直接入力可）
B	管路施設 自然流下式	VU管	m	m				調査結果（健全度）	地区毎にS-5～S-2の健 全度指標毎に集計した結 果を記載する	「1, 5 0 5 m」 「5 3 基」 「7 1 個」 「3 面」 「一式」	（単位はプルダウンで選 択可、これに拠らない場 合は直接入力可）
		マンホール	基	基							
		蓋		個							
	管路施設 圧力式	マンホール	基								
		蓋		個							
	管路施設 中継ポンプ機械設備	中継ポンプ 本体	基			基					
	管路施設 中継ポンプ電気設備	中継ポンプ 制御盤				面					
	污水处理施設 鉄筋コンクリート	水槽 （本体）	m2	m2	m2						
	污水处理施設 鉄筋コンクリート表面被覆	水槽 （表面被覆）	m2								
	污水处理施設 機械設備	機械設備類	基	基	基	基					
	污水处理施設 電気設備	電気設備類		式	面						
								★ ・調査結果集計表（地区毎に調査結果を健全度別に集計）として記述。 ・機能診断調査結果については、農業集落排水施設におけるストックマネジメントの手引きに基づき実施した調 査結果を記載することを基本とするが、手引きに基づいた調査が困難な場合は、目視調査など簡易な手法を用 いた調査結果を記載することとし、調査精度は策定主体の判断で設定することが出来る。 ・個別の調査結果は別紙に添付。			

最適整備構想（施設監視 5 年計画）様式 作成要領

最適整備構想（施設監視 5 年計画）様式							項目	記載方法	記載例	その他（補足説明）
3. 保全対策一覧（施設監視の対象施設）							3. 保全対策一覧 （施設監視の対象施設）			平成29年 3 月国土交通 省水管理・国土保全局下 水道部下水道ストックマ ネジメント支援制度の様 式及び記載例を参考にす ることができる内容とし ている
1）計画期間：5 年（平成 30 年度 ～ 平成 34 年度）							1）計画期間	当面の 5 年間を重点計画 期間として記載する	〇年（平成 〇年度 ～ 平成 〇年度）	
2）個別施設の機能保全対策							2）個別施設の 機能保全対策			
地区名							地区名（処理区名）	地区名を記載する	〇〇	
A	汚水処理施設 鉄筋コンクリート	水槽（本体）流量調整槽	1 式	〇〇〇〇	通常事後保全	—	対象施設名	「汚水処理施設鉄筋コン クリート」「汚水処理施 設機械設備」「汚水処理 施設電気設備」「管路施 設自然流下式」のよう に して対象施設の名称を記 載する	「汚水処理施設鉄筋コンクリート」 「汚水処理施設鉄筋コンクリート表面被 覆」 「汚水処理施設機械設備」 「汚水処理施設電気設備」 「管路施設自然流下式」 「管路施設中継ポンプ機械設備」 「管路施設中継ポンプ電気設備」	シート”表 2 ”に添付した 施設の一覧表にある名称 を参考にすることができ る（プルダウンで選択 可、これに抛らない場合 は直接入力可）
		汚水処理施設 鉄筋コンクリート 表面被覆	水槽（表面被覆）流量調整槽	1 式	〇〇〇〇	通常事後保全				
	汚水処理施設 機械設備	自動荒目スクリーン	1 基	〇〇〇〇	通常事後保全	H30対策実施予定	更新内容	「水槽（本体）流量調整 槽」「水槽（表面被覆） 流量調整槽」「自動荒目 スクリーン」のよう にして更新する施設を記載す る	「水槽（本体）流量調整槽」 「水槽（表面被覆）流量調整槽」 「自動荒目スクリーン」 「動力制御盤」 「VU150（支38-2、支14-3）」 「マンホール蓋 T-6」 「No.3(MH16)中継ポンプNo.1」 「No.1(MH1)中継ポンプ制御盤」	
		沈砂排出エアリフトポンプ	1 基	〇〇〇	通常事後保全	H30対策実施予定				
		砂砂機	1 基	〇〇〇	状態監視保全	H30対策実施予定				
		取水ポンプ A	1 基	〇〇〇	状態監視保全	H30対策実施予定				
		取水ポンプ B	1 基	〇〇〇	状態監視保全	H30対策実施予定				
		流量調整ポンプ A	1 基	〇〇〇	状態監視保全	H30対策実施予定				
		流量調整ポンプ B	1 基	〇〇〇	状態監視保全	H30対策実施予定				
		水中攪拌ポンプ A	1 基	〇〇〇	状態監視保全	H30対策実施予定				
		水中攪拌ポンプ B	1 基	〇〇〇	状態監視保全	H30対策実施予定				
		し渣脱水機	1 基	〇〇〇	状態監視保全	H30対策実施予定				
		自動微細目スクリーン A	1 基	〇〇〇	状態監視保全	—				
		自動微細目スクリーン B	1 基	〇〇〇	状態監視保全	—				
		接触ばっ気槽散気装置（第1室）	1 式	〇〇〇	通常事後保全	—				
		接触ばっ気槽散気装置（第2室）	1 式	〇〇〇	通常事後保全	—				
		センターウェル	1 基	〇〇〇	通常事後保全	—				
		スラムスキマ	1 基	〇〇〇	通常事後保全	—				
		消音器	1 基	〇〇〇	通常事後保全	—				
		汚泥引抜ポンプ A	1 基	〇〇〇	状態監視保全	—				
		汚泥引抜ポンプ B	1 基	〇〇〇	状態監視保全	—				
		ブロウ（常用）A	1 基	〇〇〇〇	状態監視保全	—				
		ブロウ（常用）B	1 基	〇〇〇〇	状態監視保全	—				
		ブロウ（予備）C	1 基	〇〇〇〇	状態監視保全	—				
		前処理室給気ファン	1 基	〇〇〇	通常事後保全	—				
		前処理室排気ファン	1 基	〇〇〇	通常事後保全	—				
	汚水処理施設 電気設備	動力制御盤	1 面	〇〇〇〇〇	時間計画保全	—				
		計装盤	1 面	〇〇〇〇	時間計画保全	—				
		現場操作盤LP-1	1 面	〇〇〇	時間計画保全	—				
		現場操作盤LP-2	1 面	〇〇〇	時間計画保全	—				
		高圧受電盤	1 面	〇〇〇〇〇	時間計画保全	—				
	管路施設 自然流下式	室内照明（蛍光灯）	1 式	〇〇〇	時間計画保全	—				
		（更生工法）								
		VU150（支38-2、支14-3）	80 m	〇〇〇〇	通常事後保全	H30対策実施予定				
		VU200（幹1-2）	34 m	〇〇〇〇	通常事後保全	H30対策実施予定				
		VU200（支16-4）	25 m	〇〇〇〇	通常事後保全	H30対策実施予定				
	管路施設 中継ポンプ機械設備	マンホール RC1号	75 基	〇〇〇〇〇	通常事後保全	—				
		マンホール蓋 T-6	6 個	〇〇〇	通常事後保全	H30対策実施予定				
		No.3(MH16)中継ポンプNo.1	1 基	〇〇〇	状態監視保全	—				
	管路施設 中継ポンプ電気設備	No.3(MH16)中継ポンプNo.2	1 基	〇〇〇	状態監視保全	—				
		No.1(MH11)中継ポンプ制御盤	1 面	〇〇〇〇	時間計画保全	—				
		No.2(MH11)中継ポンプ制御盤	1 面	〇〇〇〇	時間計画保全	—				
		No.3(MH16)中継ポンプ制御盤	1 面	〇〇〇〇	時間計画保全	—				
数量							数量	更新する施設の数量を記 載する	「一式」 「1 基」 「1 面」 「80m」 「6 個」	（単位はプルダウンで選 択可、これに抛らない場 合は直接入力可）

最適整備構想（施設監視 5 年計画）様式 作成要領

最適整備構想（施設監視 5 年計画）様式								項目	記載方法	記載例	その他（補足説明）
3. 保全対策一覧（施設監視の対象施設）								機能保全コスト （千円）	更新する施設に係る費用 を記載する	「〇〇〇〇」 「〇〇〇〇」 「〇〇〇〇〇〇」 「〇〇〇〇〇〇」 「〇〇〇〇」 「〇〇〇〇」	★
1) 計画期間：5 年（平成 30 年度 ～ 平成 34 年度）											
2) 個別施設の機能保全対策								★ 機能保全対策コスト（千円）の採用については、計画主体（市町村）において以下の対応が考えられる。 いずれの方法をとる場合において、計画主体の判断で採用根拠を明確に整理しておくこととする。 1）市町村が独自にとりまとめている単価に基づき採用する。 2）当該県（または、近隣の他県）が公表している単価に基づき採用する。 3）計画策定年度に専門業者等に依頼した見積単価に基づき採用する。 4）過年度に行った見積単価を精査（支出済換算係数※）を乗じて計画策定年度の単価に補正）した上で採用する。 5）当該年度に工事実施中の他地区の単価を適用し、採用する。 6）過年度に工事実施した他地区の単価を精査（支出済換算係数※）を乗じて計画策定年度の単価に補正）した上で採用する。 7）維持管理業者等に間取り調査した単価を採用する。 8）H29年度〇〇に基づき聞き取った単価を採用する。 9）A 地区の〇年度単価の例を採用する。 10）〇年から〇年の機能強化実施地区平均値の単価を採用する。 11）H29資材価格調査表（市販）の価格について施設規模を勘案し補正した単価を採用する。 ※）支出済換算係数は、「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」（農林水産省農村振興局企画部長通知）により毎年度通知される。			
地区名	対象施設名	更 新 内 容	数量	機能保全コスト （千円）	施設監視内容 （保全方式）	施設監視結果					
A	汚水処理施設 鉄筋コンクリート	水槽（本体）流量調整槽	1 式	〇〇〇〇	通常事後保全	—					
		水槽（表面被覆）流量調整槽	1 式	〇〇〇〇	通常事後保全	—					
	汚水処理施設 鉄筋コンクリート 表面被覆	自動飛目スクリーン	1 基	〇〇〇〇	通常事後保全	H30対策実施予定					
		沈砂排出エアリフトポンプ	1 基	〇〇〇	通常事後保全	H30対策実施予定					
		砂砕機	1 基	〇〇〇	状態監視保全	H30対策実施予定					
		排水ポンプ A	1 基	〇〇〇	状態監視保全	H30対策実施予定					
		排水ポンプ B	1 基	〇〇〇	状態監視保全	H30対策実施予定					
		流量調整ポンプ A	1 基	〇〇〇	状態監視保全	H30対策実施予定					
		流量調整ポンプ B	1 基	〇〇〇	状態監視保全	H30対策実施予定					
		水中攪拌ポンプ A	1 基	〇〇〇	状態監視保全	H30対策実施予定					
		水中攪拌ポンプ B	1 基	〇〇〇	状態監視保全	H30対策実施予定					
		し渣脱水機	1 基	〇〇〇	状態監視保全	H30対策実施予定					
		自動飛目スクリーン A	1 基	〇〇〇	状態監視保全	—					
		自動飛目スクリーン B	1 基	〇〇〇	状態監視保全	—					
		接触ばっ気槽散気装置(第1室)	1 式	〇〇〇	通常事後保全	—					
		接触ばっ気槽散気装置(第2室)	1 式	〇〇〇	通常事後保全	—					
		センターウェル	1 基	〇〇〇	通常事後保全	—					
		スカムスキマ	1 基	〇〇〇	通常事後保全	—					
		消毒器	1 基	〇〇〇	通常事後保全	—					
		汚泥引抜ポンプ A	1 基	〇〇〇	状態監視保全	—					
		汚泥引抜ポンプ B	1 基	〇〇〇	状態監視保全	—					
		ブロウ(常用) A	1 基	〇〇〇〇	状態監視保全	—					
	ブロウ(常用) B	1 基	〇〇〇〇	状態監視保全	—						
	ブロウ(予備) C	1 基	〇〇〇〇	状態監視保全	—						
	前処理室給気ファン	1 基	〇〇〇	通常事後保全	—						
	前処理室排気ファン	1 基	〇〇〇	通常事後保全	—						
	汚水処理施設 電気設備	動力制御盤	1 面	〇〇〇〇〇	時間計画保全	—					
		計装盤	1 面	〇〇〇〇	時間計画保全	—					
		現場操作盤LP-1	1 面	〇〇〇	時間計画保全	—					
		現場操作盤LP-2	1 面	〇〇〇	時間計画保全	—					
		高圧受電盤	1 面	〇〇〇〇〇	時間計画保全	—					
		室内照明（蛍光灯） （更生工法）	1 式	〇〇〇	時間計画保全	—					
	管路施設 自然流下式	VU150（支38-2、支14-3）	80 m	〇〇〇〇	通常事後保全	H30対策実施予定					
		VU200（幹1-2）	34 m	〇〇〇〇	通常事後保全	H30対策実施予定					
		VU200（支16-4）	25 m	〇〇〇〇	通常事後保全	H30対策実施予定					
		マンホール RC1号	75 基	〇〇〇〇〇	通常事後保全	—					
	管路施設 中継ポンプ機械設備	マンホール蓋 T-6	6 個	〇〇〇	通常事後保全	H30対策実施予定					
		No.3(MH-H16)中継ポンプNo.1	1 基	〇〇〇	状態監視保全	—					
	管路施設 中継ポンプ電気設備	No.3(MH-H16)中継ポンプNo.2	1 基	〇〇〇	状態監視保全	—					
		No.1(MH11)中継ポンプ制御盤	1 面	〇〇〇〇	時間計画保全	—					
		No.2(MH11)中継ポンプ制御盤	1 面	〇〇〇〇	時間計画保全	—					
			No.3(MH16)中継ポンプ制御盤	1 面	〇〇〇〇	時間計画保全	—				

最適整備構想（施設監視 5 年計画）様式 作成要領

最適整備構想（施設監視 5 年計画）様式							項目	記載方法	記載例	その他（補足説明）				
3. 保全対策一覧（施設監視の対象施設）							施設監視内容 （保全方式）	計画期間における施設監視の内容として保全方式を記載する	「通常事後保全」 「状態監視保全」 「時間計画保全」	（プルダウンで選択可） 「農業集落排水施設におけるストックマネジメントの手引き（案）」（平成29年度改訂版）平成29年4月のP134～136参照				
1) 計画期間：5 年（平成 30 年度 ～ 平成 34 年度）														
2) 個別施設の機能保全対策							施設監視結果	計画策定時点で、対策実施施設がある場合に対応策を記載する	「H30対策実施予定」					
地区名	対象施設名	更 新 内 容	数量	機能保全コスト （千円）	施設監視内容 （保全方式）	施設監視結果								
A	汚水処理施設 鉄筋コンクリート	水槽（本体）流量調整槽	1 式	0000	通常事後保全	—	施設監視実施時点における監視結果よりこれまでの対応策、これからの対応策を記載	施設監視実施時点における監視結果よりこれまで の対応策、これからの対応策を記載	「H30対策実施予定」 「継続監視」 「H30対策実施済み」 「H30→× H31対策実施済み」 「H31対策実施済み」 「H32対策実施済み」 「H33対策実施予定」 「H32→× H33対策実施予定」	健全度と保全方式を踏まえた時期に、対策実施予定等を決定することが望ましい				
		水槽（表面被覆）流量調整槽	1 式	0000	通常事後保全	—								
	汚水処理施設 鉄筋コンクリート 表面被覆	自動荒目スクリーン	1 基	0000	通常事後保全	H30対策実施予定								
		沈砂排出エアリフトポンプ	1 基	000	通常事後保全	H30対策実施予定								
		砂設備	1 基	000	状態監視保全	H30対策実施予定								
		原水ポンプ A	1 基	000	状態監視保全	H30対策実施予定								
		原水ポンプ B	1 基	000	状態監視保全	H30対策実施予定								
		流量調整ポンプ A	1 基	000	状態監視保全	H30対策実施予定								
		流量調整ポンプ B	1 基	000	状態監視保全	H30対策実施予定								
		水中攪拌ポンプ A	1 基	000	状態監視保全	H30対策実施予定								
		水中攪拌ポンプ B	1 基	000	状態監視保全	H30対策実施予定								
		し選脱水機	1 基	000	状態監視保全	H30対策実施予定								
		自動縦掃目スクリーン A	1 基	000	状態監視保全	—								
		自動縦掃目スクリーン B	1 基	000	状態監視保全	—								
		接触ばっ気槽散気装置(第1室)	1 式	000	通常事後保全	—								
		接触ばっ気槽散気装置(第2室)	1 式	000	通常事後保全	—								
		センターウェル	1 基	000	通常事後保全	—								
		スラムスキマ	1 基	000	通常事後保全	—								
		消毒器	1 基	000	通常事後保全	—								
		汚泥引抜ポンプ A	1 基	000	状態監視保全	—								
		汚泥引抜ポンプ B	1 基	000	状態監視保全	—								
		ブロウ(常用) A	1 基	0000	状態監視保全	—								
		ブロウ(常用) B	1 基	0000	状態監視保全	—								
		ブロウ(予備) C	1 基	0000	状態監視保全	—								
		前処理室給気ファン	1 基	000	通常事後保全	—								
		前処理室排気ファン	1 基	000	通常事後保全	—								
	汚水処理施設 電気設備	動力制御盤	1 面	00000	時間計画保全	—								
		計装盤	1 面	0000	時間計画保全	—								
		現場操作盤LP-1	1 面	000	時間計画保全	—								
		現場操作盤LP-2	1 面	000	時間計画保全	—								
		高圧受電盤	1 面	00000	時間計画保全	—								
		室内照明（蛍光灯）	1 式	000	時間計画保全	—								
	管路施設 自然流下式	（更生工法）												
		VU150（支38-2、支14-3）	80 m	0000	通常事後保全	H30対策実施予定								
		VU200（幹1-2）	34 m	0000	通常事後保全	H30対策実施予定								
		VU200（支16-4）	25 m	0000	通常事後保全	H30対策実施予定								
		マンホール PC1号	75 基	00000	通常事後保全	—								
	管路施設 中継ポンプ機械設備	マンホール蓋 T-6	6 個	000	通常事後保全	H30対策実施予定								
		No.3(MH16)中継ポンプNo.1	1 基	000	状態監視保全	—								
	管路施設 中継ポンプ電気設備	No.3(MH16)中継ポンプNo.2	1 基	000	状態監視保全	—								
		No.1(MH11)中継ポンプ制御盤	1 面	0000	時間計画保全	—								
		No.2(MH11)中継ポンプ制御盤	1 面	0000	時間計画保全	—								

最適整備構想（施設監視 5 年計画）様式 作成要領

最適整備構想（施設監視 5 年計画）様式						項目	記載方法	記載例	その他（補足説明）																																																																	
4. 施設監視計画						4. 施設監視計画	3. 保全対策一覧における機能保全対策施設を保全形式別に分類し、現状の健全度、点検・調査頻度などを記載する		平成29年 3 月国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道ストックマネジメント支援制度の様式及び記載例を参考にすることができる内容としている																																																																	
1) 状態監視保全施設						1) 状態監視保全施設																																																																				
<table><tr><th>地区名</th><th>対象施設名</th><th>更 新 内 容</th><th>数量</th><th>現状の健全度</th><th>点検・調査頻度</th></tr><tr><td rowspan="14">A</td><td rowspan="10">汚水処理施設 機械設備</td><td>破砕機</td><td>1 基</td><td>S-3</td><td>1回以上/年の頻度で施設監視</td></tr><tr><td>原水ポンプ A</td><td>1 基</td><td>S-4</td><td>1回以上/年の頻度で施設監視</td></tr><tr><td>原水ポンプ B</td><td>1 基</td><td>S-4</td><td>1回以上/年の頻度で施設監視</td></tr><tr><td>流量調整ポンプ A</td><td>1 基</td><td>S-3</td><td>1回以上/年の頻度で施設監視</td></tr><tr><td>流量調整ポンプ B</td><td>1 基</td><td>S-4</td><td>1回以上/年の頻度で施設監視</td></tr><tr><td>水中攪拌ポンプ A</td><td>1 基</td><td>S-3</td><td>1回以上/年の頻度で施設監視</td></tr><tr><td>水中攪拌ポンプ B</td><td>1 基</td><td>S-4</td><td>1回以上/年の頻度で施設監視</td></tr><tr><td>し選脱水機</td><td>1 基</td><td>S-3</td><td>1回以上/年の頻度で施設監視</td></tr><tr><td>自動微細目スクリーン A</td><td>1 基</td><td>S-4</td><td>1回以上/年の頻度で施設監視</td></tr><tr><td>自動微細目スクリーン B</td><td>1 基</td><td>S-4</td><td>1回以上/年の頻度で施設監視</td></tr><tr><td rowspan="4">管路施設 中継ポンプ機械設備</td><td>汚泥引抜ポンプ A</td><td>1 基</td><td>S-4</td><td>1回以上/年の頻度で施設監視</td></tr><tr><td>汚泥引抜ポンプ B</td><td>1 基</td><td>S-3</td><td>1回以上/年の頻度で施設監視</td></tr><tr><td>No.3(MH116)中継ポンプNo.1</td><td>1 基</td><td>S-2</td><td>2回以上/年の頻度で施設監視</td></tr><tr><td>No.3(MH116)中継ポンプNo.2</td><td>1 基</td><td>S-2</td><td>2回以上/年の頻度で施設監視</td></tr></table>						地区名	対象施設名	更 新 内 容	数量	現状の健全度	点検・調査頻度	A	汚水処理施設 機械設備	破砕機	1 基	S-3	1回以上/年の頻度で施設監視	原水ポンプ A	1 基	S-4	1回以上/年の頻度で施設監視	原水ポンプ B	1 基	S-4	1回以上/年の頻度で施設監視	流量調整ポンプ A	1 基	S-3	1回以上/年の頻度で施設監視	流量調整ポンプ B	1 基	S-4	1回以上/年の頻度で施設監視	水中攪拌ポンプ A	1 基	S-3	1回以上/年の頻度で施設監視	水中攪拌ポンプ B	1 基	S-4	1回以上/年の頻度で施設監視	し選脱水機	1 基	S-3	1回以上/年の頻度で施設監視	自動微細目スクリーン A	1 基	S-4	1回以上/年の頻度で施設監視	自動微細目スクリーン B	1 基	S-4	1回以上/年の頻度で施設監視	管路施設 中継ポンプ機械設備	汚泥引抜ポンプ A	1 基	S-4	1回以上/年の頻度で施設監視	汚泥引抜ポンプ B	1 基	S-3	1回以上/年の頻度で施設監視	No.3(MH116)中継ポンプNo.1	1 基	S-2	2回以上/年の頻度で施設監視	No.3(MH116)中継ポンプNo.2	1 基	S-2	2回以上/年の頻度で施設監視	地区名（処理区名）	地区名を記載する	〇〇	
地区名	対象施設名	更 新 内 容	数量	現状の健全度	点検・調査頻度																																																																					
A	汚水処理施設 機械設備	破砕機	1 基	S-3	1回以上/年の頻度で施設監視																																																																					
		原水ポンプ A	1 基	S-4	1回以上/年の頻度で施設監視																																																																					
		原水ポンプ B	1 基	S-4	1回以上/年の頻度で施設監視																																																																					
		流量調整ポンプ A	1 基	S-3	1回以上/年の頻度で施設監視																																																																					
		流量調整ポンプ B	1 基	S-4	1回以上/年の頻度で施設監視																																																																					
		水中攪拌ポンプ A	1 基	S-3	1回以上/年の頻度で施設監視																																																																					
		水中攪拌ポンプ B	1 基	S-4	1回以上/年の頻度で施設監視																																																																					
		し選脱水機	1 基	S-3	1回以上/年の頻度で施設監視																																																																					
		自動微細目スクリーン A	1 基	S-4	1回以上/年の頻度で施設監視																																																																					
		自動微細目スクリーン B	1 基	S-4	1回以上/年の頻度で施設監視																																																																					
	管路施設 中継ポンプ機械設備	汚泥引抜ポンプ A	1 基	S-4	1回以上/年の頻度で施設監視																																																																					
		汚泥引抜ポンプ B	1 基	S-3	1回以上/年の頻度で施設監視																																																																					
		No.3(MH116)中継ポンプNo.1	1 基	S-2	2回以上/年の頻度で施設監視																																																																					
		No.3(MH116)中継ポンプNo.2	1 基	S-2	2回以上/年の頻度で施設監視																																																																					
対象施設名						「汚水処理施設機械設備」「管路施設中継ポンプ機械設備」のようにして対象施設の名称を記載する	「汚水処理施設機械設備」 「管路施設中継ポンプ機械設備」	シート”表 2 ”に添付した施設の一覧表にある名称を参考にすることができる（プルダウンで選択可、これに拠らない場合は直接入力可）																																																																		
更新内容						「破砕機」「原水ポンプ A」「流量調整ポンプ A」のようにして更新する施設を記載する	「破砕機」 「原水ポンプ A」 「流量調整ポンプ A」 「No.3(MH16)中継ポンプNo.1」																																																																			
数量						更新する施設の数量を記載する	「1 基」	（単位はプルダウンで選択可、これに拠らない場合は直接入力可）																																																																		
現状の健全度						施設調査結果より対象施設の健全度を記載する	「S -4」 「S -3」 「S -2」	（プルダウンで選択可）																																																																		
点検・調査頻度						施設監視を行う頻度を記載する	「1回以上/年の頻度で施設監視」 「2回以上/年の頻度で施設監視」	頻度は施設管理者が計画する																																																																		

最適整備構想（施設監視 5 年計画）様式 作成要領

[illegible]

最適整備構想（施設監視 5 年計画）様式 作成要領

最適整備構想（施設監視5年計画）様式

3）主要な施設の保全形式を通常事後保全とする場合の理由

地区名	対象施設名	更 新 内 容	数量	現状の健全度	理由
A	汚水処理施設電気設備	ブロワ(常用) A	1 基	S-4	本施設においては予備機を保有しているため
		ブロワ(常用) B	1 基	S-3	本施設においては予備機を保有しているため
		ブロワ(予備) C	1 基	S-3	本施設においては予備機を保有しているため

項目	記載方法	記載例	その他（補足説明）
3）主要な施設の保全形式を通常事後保全とする場合の理由			
対象施設名	「汚水処理施設電気設備」のようにして対象施設の名称を記載する	「汚水処理施設電気設備」	シート”表2”に添付した施設の一覧表にある名称を参考にすることができる（プルダウンで選択可、これに拠らない場合は直接入力可）
更新内容	「ブロワ(常用)A」のようにして更新する施設を記載する	「ブロワ(常用)A」 「ブロワ(常用)B」 「ブロワ(予備)C」	
数量	更新する施設の数量を記載する	「1 基」	（単位はプルダウンで選択可、これに拠らない場合は直接入力可）
現状の健全度	施設調査結果より対象施設の健全度を記載する	「S -4」 「S -3」	（プルダウンで選択可）
理由	「通常事後保全」の施設は監視に含めないこととし、予防保全に該当する施設を「通常事後保全」に設定する場合の理由を記載する	「本施設においては予備機を保有しているため」	

【表 1】 ・以下の処理方式より選択する。

ただし、この処理方式に該当しない場合や他の処理方式の場合は、セルを増やして入力もしくは直接入力も可。

処理方式	
1	J-〇〇型
2	J-S型
3	J-I 型
4	J-II 型
5	J-III 型
6	J-III _G 型
7	J-IV 型
8	J-IV _H 型
9	J-X I 型
10	J-X II 型
11	J-X II _H 型
12	J-X III 型
13	J-X IV 型
14	J-X IV _P 型
15	J-X IV _{P1} 型
16	J-X IV _H 型
17	J-X IV _G 型
18	J-X IV _G _P 型
19	J-X IV _R 型
20	J-X V 型
21	J-FM 型
22	J-膜
23	J-高度膜
24	J-OD 型
25	J-OD _H 型
26	〇〇式
27	土壌浄化式
28	土壌被覆式
29	担体流動式

【表 2】 ・以下の対象施設名より選択する。

ただし、この対象施設名に該当しない場合や他の施設名の場合は、セルを増やして入力もしくは直接入力也可。

対象施設名	
1	管路施設 自然流下式
2	管路施設 圧力式
3	管路施設 真空式
4	管路施設 中継ポンプ機械設備
5	管路施設 中継ポンプ電気設備
6	汚水処理施設 鉄筋コンクリート
7	汚水処理施設 鉄筋コンクリート表面被覆
8	汚水処理施設 機械設備
9	汚水処理施設 電気設備
10	

【表 3】 ・以下の施設仕様より選択する。

ただし、この施設仕様該当しない場合や他の施設仕様の場合は、セルを増やして入力もしくは直接入力可。

施設仕様	
1	VU管
2	VP管
3	HP管
4	PE管
5	VC管
6	リブ管
7	鋼管
8	卵形管
9	マンホール
10	蓋
11	真空弁ユニット (内部部材)
12	真空弁ユニット (本体)
13	真空弁 (本体)
14	真空弁 (付属品)
15	中継ポンプ 本体
16	中継ポンプ 制御盤
17	水槽 (本体)
18	水槽 (表面被覆)
19	機械設備類
20	電気設備類

【参考1】

【記載例】

農業集落排水施設の機能保全等計画概要 (平成〇年〇月作成)

1. 汚水処理の概要（農業集落排水施設以外も含む）						
市町村名	現況（H○年度）			将来（H○年度）		
	行政人口	汚水処理人口	普及率	行政人口	汚水処理人口	普及率
○○県○○町	○○人	○○人	○%	○○人	○○人	○%
2. 農業集落排水施設の概要						
地区名	処理区名	供用開始	計画人口 （H○年度）	現在供用人口 （H○年度）	将来計画人口 （H○年度）	機能診断
○○	○○	H○年○月	○○人	○○人	○○人	H○年度
○○	○○	H○年○月	○○人	○○人	○○人	H○予定
○○	○○	建設中	○○人	○○人	○○人	未
3. 農業集落排水施設の機能保全対策・再編等の概要						
最適整備構想		H○年○月策定 or H○年策定予定 or 未策定				
再編計画		H○年○月策定 or H○年策定予定 or 未策定				
地区名	処理区名	対策時期及び内容				対策費用
○○	○○	H○年度にポンプ機器交換に着手予定				○○百万円
		H○年度に処理槽コンクリートの補修に着手予定				○○百万円
○○	○○	H○年度に○○公共下水道に編入予定				○○百万円
○○	○○	H○年度に○○処理区に統合予定				○○百万円
4. 農業集落排水施設の再編に関する事項						
(1)施設再編による維持管理費の削減目標（再編予定の農業集落排水施設がある場合）						
・○○処理区と○○処理区の統合						
再編前（H○年度）○○千円/年 → 再編後（H○年度）○○千円/年（○%減）						
・○○処理区を公共下水道に編入						
再編前（H○年度）○○千円/年 → 再編後（H○年度）○○千円/年（○%減）						
(2)施設再編を計画しない理由（再編予定の無い農業集落排水施設がある場合）						
・○○処理区は近接の○○処理区から約○km離れており、経済比較の結果、再編は不利であるため。						
・○○処理区と○○処理区の統合には人口動態を踏まえると処理施設の拡張が必要となり、経済比較の結果、再編は不利であるため。						
添付資料						
汚水処理施設の再編計画図						

【記載要領】

- 共通事項
- ・ 地区名・処理区名は、当該市町村内で供用中及び新規整備着工中の全ての農業集落排水施設について記載すること。
 - ・ 地区数・処理区数に応じて適宜欄を追加・削除すること。
 - ・ 未定のところは空欄で可。
 - ・ 毎年4月頃に作成依頼している農業集落排水事業実施状況等調査の地区別調書との整合を図ること。
- 「2. 農業集落排水施設の概要」
- ・ 「供用開始」欄について、供用中の地区については新規整備時の供用開始年月を記載し、新規整備着工中の地区については「建設中」と記載すること。
 - ・ 「計画人口」欄は、農業集落排水事業計画の処理人口（定住人口＋流入人口）を記載すること（計画変更を行っていれば、変更計画の処理人口を記載）。（※処理施設の処理能力の概定として活用）
 - ・ 「現在供用人口」欄は、当該処理区内の定住人口＋流入人口（未接続の人口も含む）を記載すること。
 - ・ 「将来計画人口」欄は、当該処理区内の推計定住人口＋推計流入人口を記載すること。
 - ・ 「機能診断」欄は、実施済みの場合は「H〇年度」、実施予定がある場合は「H〇予定」、実施予定がない場合は「未」と記載すること。
- 「3. 機能保全対策・再編等の概要」
- ・ 「最適整備構想」、「再編計画」欄は、策定済みの場合は「H〇年〇月策定」、策定予定がある場合は「H〇年策定予定」、策定予定がない場合は「未策定」と記載すること。
- 「添付資料」
- ・ 汚水処理施設の再編計画図は、模式図ではなく、国土地理院の地形図など地形・地理的状況等が把握できるような地図を用いること。
 - ・ 汚水処理施設の再編計画図には、再編に係る処理区のみならず、再編を予定していない処理区についても記載すること。また、農業集落排水施設のみならず、公共下水道など全ての汚水処理施設について記載すること。